

創立 1980年10月8日



ROTARY CLUB OF SAKAI NORTH

第2640地区 堺北ロータリークラブ週報

事務所 〒590-0940 堺市堺区車之町西2丁1番30号 ポピア南海3階302号

Tel (072) 223-2300 番 Fax (072) 223-5005 番

URL : <http://www.sakai-kita.jp/>

E-mail : snrc@jasmine.ocn.ne.jp

例会日 毎週金曜日 午後0時30分

例会場 南海グリル 天兆閣別館 4階「ローズ」 Tel:(072)222-0131 番 (代表)

ガバナー(第2640地区) : 岡本 浩

ガバナー事務所 URL : <http://www.rid2640g.com/okamoto/>

E-mail : okamoto2640@athena.ocn.ne.jp

会長: 辰 正博 幹事: 池永隆昭 広報委員長: 中川 澄 編集者: 米澤邦明

四つのテスト 言行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

本日の例会

2018年2月2日(金)第1783回

卓話 「会員増強のための

拡大例会について」

卓話者 会員増強委員長 嶽盛和三

今週の歌「君が代」「奉仕の理想」

「バースデイソング」

お客様の紹介・出席報告・会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

○会員・奥様誕生祝い(2月度)

山中喜八郎会員 藤永誉会員

池永隆昭会員 辰 正博会員

池田茂雄会員 笹山 恭子様

○結婚記念祝い(2月度)

なし

次週の例会

2018年2月9日(金)第1784回

「第2回クラブアッセンブリー」

今年度委員会委員長

前回の例会

2018年1月26日(金)第1782回

卓話 「堺時代のオダサク～織田作之助～」

卓話者 井溪 明様

紹介者 堀畑 好秀 会員

今週の歌「日も風も星も」「冬景色」

お客様の紹介 レ・ティ・タム様

ゲン・ティ・フーン様

出席報告・会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

○皆出席表彰(1月度)

藤永 誉会員(第6回)

○各種表彰

山中喜八郎会員(ポールハリスフェロー3)

奥野圭作会員(ポールハリスフェロー2)

北側一雄会員(ポールハリスフェロー2)

濱口正義会員(米山メジャードナー第64回)

嶽盛和三会員(米山メジャードナー第15回)

<1月26日(木)の出席報告>

会員数 28名

出席会員 18名

欠席会員 10名

ゲスト 3名

ビジター 0名

11月17日(金)の出席率 90.32%



ロータリー:
変化をもたらす

2017-18年度 国際ロータリーのテーマ

「ロータリー: 変化をもたらす」

国際ロータリー会長 イアン・ライズリー (オーストラリア・SandringhamRC)

卓 話

「堺時代のオダサク～織田作之助～」

卓話者 井溪 明様



織田作之助（大正2年(1913)～昭和22年(1947)）は近代大阪を代表する作家のひとりです。

34年という短い生涯、更に作家生活は14年ほどの期間に大阪

を主たる舞台にした小説を単行本にして30冊近く刊行しました。

その作品の多くが、昭和14年夏、妻の一枝との結婚生活を始めた堺市北野田の丈六の地で綴られたものです。一枝は織田が三高時代に知り合った女性で、駆け落ち同然の生活を何年か過ごした後結婚に至ります。織田は昼はミナミをうろつき、帰宅した後、徹夜で創作を続けました。

その傍らには愛妻一枝が寄り添い、眠気覚ましのコーヒーはもとより辞書を手許に織田が書いた原稿の難字を引くなどして助手役を勤めていました。

そんな中で名作「夫婦善哉」が生み出されます。

ぐうたらで飽きっぽい柳吉としっかり者の蝶子の織りなす彩は、読者を道頓堀・新世界など市井の大阪に引き込んでゆく魅力に満ちたものです。

また、織田は大阪の先人にも目を向けます。

まずは近代大阪の礎を築いた五代友厚、明治前期の大阪の偉人も昭和に入ると半ば忘れられた人となっていました。織田の筆は改めて大阪の指導者であり恩人であることを呼び覚まします。

また、江戸時代の戯作者井原西鶴は大阪の最も大阪らしい作家として、織田が手本としていた人物であることが語られます。さらに関西名人を名乗った将棋の阪田三吉にもその負けじ魂に熱い想いを注ぎます。そんな中、妻一枝が19年8月ガンで死去してしまいます。一枝の死後もしばらくは丈六で創作活動をしていましたが、やがて知り合った女優の輪島昭子と堺を離れ大阪や京都を転々とした後、昭和22年東京で十日戎の日に結核で死去します。

何かに憑かれたかのように一気に駆け抜けていった生涯でした。死後70年以上たつ現在、彼の残した作品は今日も読者を引き付けるものを多く持ち、最近若者の間で人気のコミック「文豪ストレイドッグス」

（朝霧カフカ原作）では、新しいオダサク像に関心を寄せるファンが増えているようです。

これを機に「堺利品の杜」では2月24日より4月まで織田作之助の企画展を開催します。織田は堺に住みながら堺のことにあまり言及していません。

もう少し長生きしておれば書いたかもしれなかったのでは、と残念な気がします。

会長の時間

会長 辰 正博



来月2月3日は節分です。

本来の節分は各季節の前日の事を指し、立春・立夏・立秋・立冬の4回あったものでした。

しかし日本では特に年の始まりの立春が重要視されていたのも

あって2月の節分のみが有名になりました。

節分の豆まきは中国の風習から伝わったものと言われています。豆は「魔滅」とも呼び、無病息災を祈る意味もあります。

旧暦での大晦日に当たる立春前日の節分の日には平安時代の宮中では旧年中の厄や災難をはらい清める「ついな」の行事として行われていたものが室町時代になって庶民に広がったのが今の節分の始まりとも言われています。

また節分にはおなじみの鰯については西日本の風習であり、他の地域では蕎麦やこんにゃく、お汁を食べる所もあります。ちなみになぜ鰯かと言うと、弱くて卑しく臭いのある鰯を食べることで陰の気を消すという言われています。

鬼は煙に弱いとされ、脂ののった鰯は良く煙を出すところから鬼の嫌う物とされています。

また柊の葉も棘があり鬼の苦手な物とされています。このような事から鰯や柊は節分には欠かせない物となっています。

しかし同じく節分には欠かせないと思っている恵方巻きは本来、大阪の商人が商売繁盛や無病息災を願って食べていた太巻きが発祥と言われています。そして全国的に有名になったのは1998年にコンビニのセブンイレブンが販売したのがきっかけと言われております。

ちなみに今年の恵方は南南東です。
開口神社でも豆まきを午後の3時30分と6時30分に2回行いますので、邪気をはらいたい方はどうぞお越し下さい。
今年も会員の皆様方が健康にお過ごしできますように願って今回の話を終わりにしたいと思います。

S A A

その他

例会変更及び

堺南RC 堺東南RC 堺清陵RC 堺北RC

4クラブ合同例会のご案内

幹事 池永隆昭

新春の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。さて、この度当クラブがホストをさせて頂き「4クラブ合同例会」を下記の通り開催いたします。ご多忙中と存じますが、ご出席下さいますようお願い申し上げます。

記

日 時：平成30年3月1日(木)

18:00～20:30

場 所：南海グリル東店3階

会 費：5,000円

締 切：2月16日(金)まで

※3月2日(金)の例会を3月1日(木)合同例会に例会変更いたします。

以上

その他

第88回「互輪会」開催ご案内

幹事 池永隆昭

前略

2017年～2018年度の互輪会を下記の通り開催いたします。万障お繰り合わせの上奮ってご参加頂きますようお願い致します。

記

日 時：2018年3月29日(木)

場 所：天野山カントリークラブ

集合時間：各組スタート30分前をお願いします。

スタート：第一組8:00分スタート北→西、
西→北、に分かれてラウンドします。

会 費：10,000円

締 切：2月9日(金)例会終了時まで
堺北RC事務局に御返事くださいませ。

以上

委員会報告

辰 正博会員 井溪様本日卓話宜しくお願い致します。

三上尚嘉会員 ご無沙汰します。ストレイドッグスが始まるので希望します。

小西幹夫会員 久しぶりの出席です。

合計 8,000円

例会風景



皆出席表彰 藤永会員
おめでとうございます



財団特別寄付
おめでとうございます



米山奨学金授与
グエン・ティ・フーン様
おめでとうございます

砂防ダムが農家の収入を増やし、若者の流出に変化をもたらす

少し前まで、ラジャスタン州（インド）のシカー地区、アルワ地区の若者は、仕事を求めて都会に出ていました。降雨量が不安定なため農業用水が不足し、家族を養うために農業を諦めるほかなかったためです。

「244メートルの深さの井戸でも水を得るのが困難だった」と、村の老人ゴバーダンさんは言います。「灌漑用水をモンスーンの水だけに頼っていたら、水不足になり、若者も仕事を求めて大都市へ行ってしまいました」今では、ロータリーの水プロジェクトのおかげで農業が再び黒字となり、若者が村に戻ってきました。砂防ダムをつくり、地面に浸透した雨水が流れ出さないようにすることで収穫が可能になりました。農家は、この水を利用して井戸の水を確保します。砂防ダムは、一般的なダムのように川をせき止めるものとは異なり、貴重な雨水の流出を防ぐためのものです。

「以前の村は年寄りだけでしたが、今は若い人たちが戻ってきました」と、プロジェクト受益者の一人となったゴバーダンさんは話します。

貯水池

Rotary India Water Conservation Trust（ロータリー・インド水保全トラスト）は、PHD 農村開発財団と協力し、2005年から2017年の間に82の砂防ダムを建設。これによって、250,000人を超える地域住民に恩恵をもたらしました。この活動では、ロータリー財団管理委員で、上記トラストの名誉会長を務めるスシル・グプタ氏を中心となってプログラムを推進しました。侵食を防ぐダムの高さは4.3メートル、基盤の深さは2.1メートルです。その集水域は3〜7キロに渡ります。近くの丘から水が集水域へと流れ、そこで約6〜8カ月留まります。水がひくと泥と豊かな鉱物が残るため、次のモンスーンが始まる前にもう一回収穫でき、現金収入を得ることが可能になりました。これらのうち20カ所のダムでは常に水が蓄えられており、魚もとることができます。ゴバーダンさんは、誇らしげに周辺の緑を指差します。「水が不足していた時は、粟と少しの小麦しか生産できませんでした。今では粟、小麦、野菜（オクラ・トマト・緑の唐辛子など）が収穫できます。井戸の水位も2.4メートルほど高くなりました」「砂防ダムのおかげで水を手に入れ、農地が劇的に拡大し、収入も激増した」と話すのは、PHD 財団のCEO、アツル・リシさんです。

「収入が100〜200倍になった農家もある」と、ムクテイ・ナレイン・ラルさんは話します。

「藁葺き屋根の家が良い素材でできたブカハウスに変わり、ラクダが牛に変わり、畑を耕すトラクターもあります」

砂防ダムの高さは4.3メートル、基盤の深さは2.1メートル、集水域は幅3〜7キロです。

ゴバーダンさんの家に集まった農夫の一人によると、仕事を求めて都会に出た5人の息子が皆、村に戻ってきたそうです。水は豊富にあり、穀物も沢山とれる。資金を貯めて最近、約8,000ドル（約88万8千円）のトラクターを購入したそうです。砂防ダムは村人が責任をもって管理しています。また、それぞれのダムを監督する委員会が設置され、維持費となる資金も銀行で管理しています。「ある委員会では、ダムの幅を拡張する計画を立てている」と、地元のIndraprastha-Okhlaロータリークラブ会員で、水保全トラストのプロジェクト責任者をしているアツル・デブさんは話します。「緑があることから分かるように、砂防ダムのおかげで動物、鳥、植物も生きることができるようになりました」

国境を越えてつながる

2014年11月、デブさんは、Brumath-Truchtersheim-Kochersbergロータリークラブ（フランス）元会長のフィリペ・ダンゲルサーさんと一緒に、完成した砂防ダムの落成式と、新たにダム建設の起工式に出席しました。

ダンゲルサーさんは、年に2回、フランスやドイツのロータリークラブからの寄付金をもってインドを訪れます。これまでに24件のダム建設に資金を投じました。今回は3万ユーロ（約355万円）で、4〜5つのダムを作る予定です。ダム一つのコストは12,000ドル（約133万円）で、これに地元の有志が集めた資金が加わります。

ダンゲルサーさんとインドのつながりは、シカゴで行われた2005年ロータリー国際大会に遡ります。第3010地区（現在の第3011地区）のバスター・ランジャン・ディングラ氏がダンゲルサーさんをインドに招待したのです。その後ダンゲルサーさんは、ある農夫から「神が私たちを誕生させ、彼が私たちに命をくれた」と言われるほど熱心な協力者となりました。

これらのダム建設プロジェクトでは、今日までに、ロシアや米国のロータリークラブのほか、教会からも寄付金が寄せられています。

「砂防ダムのおかげで動物、鳥、植物も生きることができるようになりました」